

東北・北海道芸術文化団体協議会
創立50周年記念シンポジウム

時代はアートだ!

芸術文化が拓く、 わたしたちの(社会)未来図

令和5年

07.14 (金)

13時30分～16時30分

仙台国際センター 大ホール

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL:022-265-2211

入場
無料

東北・北海道の芸術文化活動を牽引する7団体が構成する東北・北海道芸術文化団体協議会が本年で創立50周年を迎えます。この半世紀の大きな節目に、芸術文化に関わる活動で全国的に注目されている方々を講師、ゲストとして迎えシンポジウムを開催。

51年目の歩みを「芸術文化新時代」の幕開けととらえ、これからの地域に根差した活動の在り方とその意義を考えます。



参加申し込み方法

◀ QRコードの参加フォームより
お申し込みください

※主催者より配布している『整理券』をお持ちの方は申し込みは不要です。

企業等の団体での申し込みの場合は代表の方の申し込みのみで受け付けます。

芸協アドレス: miyageikyoo@gmail.com

プログラム

第一部 基調講演 13時30分～14時30分

「美意識」が広げる社会彫刻の可能性

やまぐち しゅう

講師：山口周氏

1970年東京都生まれ。
独立研究者、著作家、パブリックス
ピーカー。著書に『ビジネスの未
来』『ニュータイプの時代』『世界の
エリートはなぜ「美意識」を鍛える
のか?』『武器になる哲学』など。



第二部 トークセッション 14時45分～15時30分

コーディネーター：安倍樹氏 (あべ たつる)
(株式会社河北新報社 取締役デジタル戦略室長)

セッションⅠ

「芸術文化と健康・心の復興」

ゲスト：大澤隆夫氏 (おおさわ たかお)
(公財)音楽の力による復興センター東北 顧問(元代表理事)

セッションⅡ

「芸術文化と企業経営」

ゲスト：山中大介氏 (やまなか だいすけ) 映像出演
ヤマガタデザイン株式会社代表取締役

セッションⅢ

「芸術文化と地域づくり」

ゲスト：松村豪太氏 (まつむら ごうた)
(一社)ISHINOMAKI2.0 代表理事 Reborn-Art Festival実行委員会事務局長

第三部 出演者×東北・北海道芸術文化団体協議会とのパネル討論 15時40分～16時30分

〈特別協賛〉

JA・JA共済連宮城

〈協賛〉

カメイ

77 七十七銀行

社の都信用金庫

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY
東北生活文化大学

仙台三曲協会

Advertising agent.
アド・エータイプ
Ad A Type Co., Ltd.

主催 東北・北海道芸術文化団体協議会

共催 公益財団法人宮城県文化振興財団 河北新報社

後援

宮城県 北海道 青森県 岩手県 秋田県 山形県 福島県 仙台市
宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 公益財団法人仙台市市民文化事業団
tbc東北放送 共同通信社仙台支社

お問い合わせ：(公社)宮城県芸術協会 TEL:022-261-7055 e-mail: miyagi-geikyoo@sunny.ocn.ne.jp

出演講師・ゲストプロフィール



山口 周(やまぐち しゅう)氏

1970年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科、同大学院文学研究科修士課程修了。独立研究者、作家、パブリックスピーカー。電通、BCGなどで戦略策定、文化政策、組織開発等に従事。著書に『ビジネスの未来』『ニュータイプの時代』『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？ 経営における「アート」と「サイエンス』(2018ビジネス書大賞・準大賞)。「直感」と「感性」の時代を説く画期的な論考で注目。著書は『武器になる哲学』など多数。株式会社中川政七商店社外取締役、株式会社モバイルファクトリー社外取締役。



大澤 隆夫(おおさわ たかお)氏

1948年仙台市生まれ。東北学院大学経済学部卒業。公益財団法人「音楽の力による復興センター・東北」代表理事を経て現在顧問。仙台市役所広報課、文化振興課長などを経て仙台市市民文化事業団副理事長兼仙台フィルハーモニー管弦楽団専務理事。オペラ「遠い帆」制作、仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルの運営を担当。2009年より仙台フィル専従。東日本大震災時には仙台フィル専務理事として当センター設立に関わる。これまで公演1050回近く。「民俗芸能を継承するふくしまの会」参事。



山中 大介(やまなか だいすけ)氏

1985年、東京都生まれ。2008年、慶應義塾大学環境情報学部を卒業。同年、三井不動産株式会社入社。郊外型大型商業施設の開発と運営に携わった後、2014年に山形県庄内地方に移住しヤマガタデザイン株式会社を設立。地域と全国から36億円の資本を調達し、その資金を元手に、観光、教育、人材、農業という4分野で8つの事業を手掛け、山形庄内から全国にも展開可能な課題解決の街づくり事業に挑む。シンボリックな事業である田んぼの中のホテル「スイデンテラス」で脚光。「日本サービス大賞」の地方創生大臣賞受賞(2022年)。



松村 豪太(まつむら ごうた)氏

1974年 石巻市生まれ。東北大学大学院法学研究科修了。Reborn-Art Festival実行委員会事務局長、一般社団法人ISHINOMAKI2.0代表理事、総務省地域力創造アドバイザー。東日本大震災で自身も被災するが、被災地からクリエイティブな地方都市のモデルを作るべくISHINOMAKI2.0を発足。まちづくりのアイデアを次々と実行に移し、まちの内外の様々な立場の人々をつなぎながら石巻のバージョンアップを目指す。APバンク代表理事の小林武史氏とともに地方型総合芸術祭Reborn-Art Festivalを立ち上げ、2015年の実行委員会設立以来事務局長を務める。これまで3度の芸術祭を導き、地域に大きな貢献。地域再生大賞特別賞(2014年)、ふるさとづくり大賞総務大臣賞(2016年)など受賞。

東北・北海道芸術文化団体協議会について

北海道文化団体協議会、一般社団法人青森県文化振興会議、一般社団法人秋田県芸術文化協会、一般社団法人岩手県芸術文化協会、山形県芸術文化協会、福島県芸術文化団体連合会、公益社団法人宮城県芸術協会の7団体で東北・北海道における総合芸術文化団体の相互交流を図り、地方芸術文化の振興に寄与することを目的に昭和47年に設立。

各地区において県展・芸術祭の実施を担う団体が、年に一度、情報交換も含めた協議の場を設け、作品展などの交流事業も開催しながら、これまで50年にわたり活動してまいりました。半世紀の節目を機に7団体でさらなる連携を図り、東北・北海道全体の芸術文化振興にこれからも寄与してまいります。